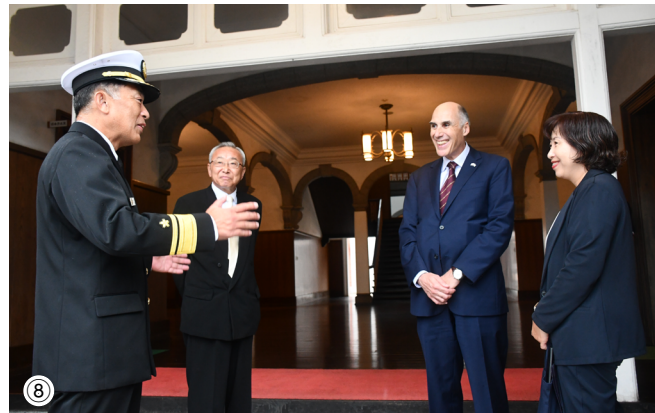
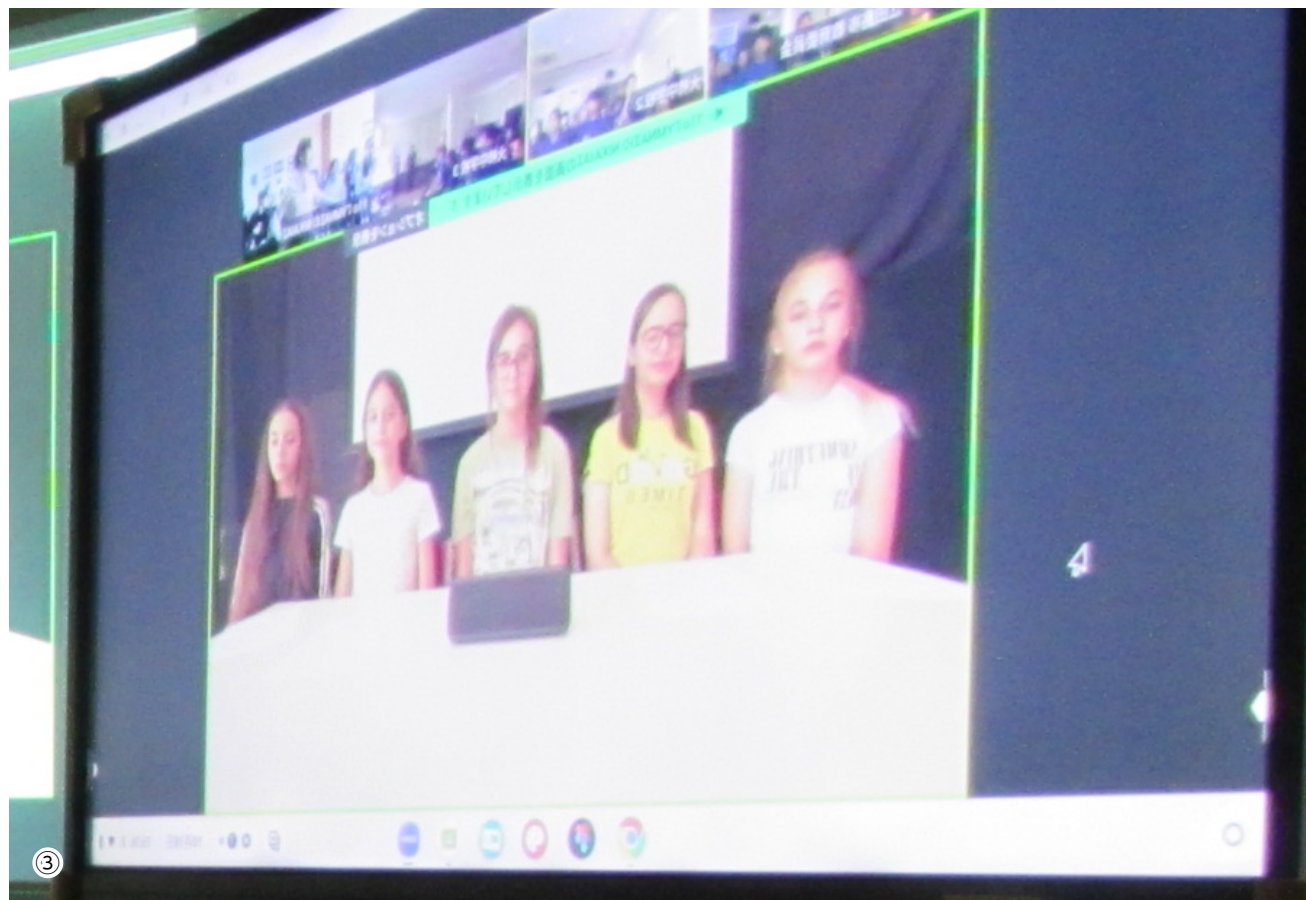




ギリシャ共和国との国際交流事業 ETAJIMA × GREECE ～現地ギリシャの中学校との交流が実現～

- ①呉特別支援学校江能分級で記念撮影
- ②大柿中学校 1 年生と記念撮影
- ④オリーブの記念植樹（呉特別支援学校江能分級）
- ⑤さとうみ科学館でカプトガニの説明を受ける大使
- ③⑦大柿中学校とニケア第 11 中学校（ギリシャ）とオンライン交流
- ⑥ギリシャ給食提供の様子（鹿川小学校）
- ⑧海上自衛隊第 1 術科学学校で本市の歴史に触れる大使

今回の交流に加え、市内飲食店におけるギリシャ料理提供（えたじまギリシャWeek）、市内小中学校でのギリシャ給食提供などを通して、よりギリシャの存在を身近に感じていただけたのではないかと思います。

今後も、本市とギリシャ共和国は、共通の特産品であるオリーブを通じての関係を深めるとともに、今回結ぶことができたニケア第 11 中学校との縁を大事にして、よりいっそうの国際理解を図っていきます。

2 日目の 19 日（土）は、海上自衛隊第 1 術科学学校を訪問し、大講堂などの見学を通して、本市の歴史に触れました。

このオンライン交流の実現に向けては、非営利組織「日本ギリシャ協会」やギリシャ在住の日本人コーディネーターの方々にご協力いただいたほか、大柿中学校 1 年生も英語による発表準備に取り組みました。

その後、さとうみ科学館、イリニ農園を訪れました。

初日となった 10 月 18 日（金）、大使は、はじめに呉特別支援学校江能分級を訪問され、学習発表会を見学した後、グラウンドにオリーブの記念植樹をしました。

次に、大柿中学校で、ギリシャ本国のニケア第 11 中学校との生徒間のオンライン交流に参加されました。

今年度は、4 月から新たに駐日ギリシャ共和国特命全権大使に着任されたニコラオス・アルギロス閣下を招き、市内学校のこどもたちとの交流を主に行いました。

江田島市は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会でギリシャ共和国のホストタウンに登録されたことを契機に、同国との交流を始めて今年が 4 年目となりました。